

## 学校教育目標：自ら学ぶ・友と学ぶ・仁科の里に学ぶ

### 【経営の理念】

#### 「本気で取り組み常に一流をめざす」授業

めざす学校像 「児童が本気で取り組む授業ができる学校」

めざす教師像 「児童に寄り添い、共に学ぶ教師」

### 【経営の概要】

#### 《 学校づくりのねらい 》

「本気で取り組み常に一流をめざそう」を合言葉に主体的な学習や友と学び合う学習を通して、学ぶ楽しさを実感し、将来「社会人としての自覚をもって積極的に生きる」「ふるさとを愛し大切に作る心をもつ」子どもになる。

#### めざす子ども像

- ・進んで学ぼうとする子ども
- ・学び合い、高め合う喜びを感じる子ども
- ・ふるさとを知り、好きになる子ども

#### 《 教育課題と重点 》

##### 教育課題

主体的に学ぶ力、学び合う力の育成

##### （重点1・授業づくり）

###### 主体的・対話的で深い学びを

- ・誰もが主役になれる授業をつくり、学び合いの楽しさを体感する。
- ・問題解決的な学習を基本とし、学力の定着と向上、体力向上を図る授業改善をする。

##### （重点2・心づくり）

###### 子ども一人一人が主役になる学びの場を

- ・居場所があり、認め合える集団をつくる。
- ・特別な支援を必要とする児童が安心して学習に取り組める支援と指導の充実を図る。

#### 《 教育システム 》

##### ○ 学びのシステム〔カリキュラム・マネジメント〕

- ・学校教育目標の達成に向け、学び合い学習（協働の学び）の授業を中核にした教育の内容を教科横断的な視点で配列していく。
- ・教育内容の質の向上、児童の資質・能力の向上のために教育課程を編成、実施し、キャリアパスポート、学び直し学習等を生かしながらPDCAサイクルを確立する。
- ・学校運営協議会と協力しながら学校づくりを進め、保護者、地域の学校支援ボランティアと共に児童の学習を支える。

##### ○ 職員の研修システム

- ・教職員がそれぞれの持ち味や創造性を発揮すると共に、協働の学びを軸に、個人研究テーマ、一人一授業公開、外部専門家の指導、他校参観等を積み重ねる。
- ・自己の働き方を見直し、子どもと向き合う時間を確保しながらも自身が健康に過ごせるよう業務改善を進める。